

文学研究科 日本語日本文学専攻(修士課程)			1年	2年
DP1: 知識・理解	1-1	日本の言語・文学・文化に関する高度で深い専門的な知識を修得している。		<p>日本文学史研究A・日本文学史研究B 漢文学研究A・漢文学研究B 多文化理解研究A・多文化理解研究B</p> <p>特別演習I → 特別演習II</p>
	1-2	人文・社会・自然に関する広範な知識を体系的に整理・理解し、日本語・日本文学の諸問題をその知識体系において把握している。		
	1-3	体系的知識を複数の異なる視点・国際的観点から把握し、現象を多様な価値観の下に捉えている。		
DP2: 技能・表現	2-1	大学院における学修を自らの知性・感性・徳性の涵養と言語能力とともにICT技能を駆使し、プレゼンテーション能力・コミュニケーション能力の向上に役立たせることができている。		<p>日本語学演習I 日本語学演習II 日本文学演習I 日本文学演習II 日本文学演習III 国語科教育演習 日本語教育演習</p> <p>特別演習I → 特別演習II</p>
	2-2	大学院における学修の成果を、学会等を含む社会での諸活動に具体的に活用できる。		
DP3: 思考・判断	3-1	日本語・日本文学に関して身につけた専門的知識を捉えなおし、批判的に考察する能力を身につけている。		<p>日本語学研究IA・日本語学研究IB 日本語学研究IIA・日本語学研究IIB 日本文学研究IA・日本文学研究IB 日本文学研究IIB・日本文学研究IIB 日本文学研究IIIA・日本文学研究IIIB 日本文学史研究A・日本文学史研究B 国語科教育研究A・国語科教育研究B 漢文学研究A・漢文学研究B 多文化理解研究A・多文化理解研究B 日本語教育研究A・日本語教育研究B</p> <p>特別演習I → 特別演習II</p>
	3-2	日本語・日本文学の学習に基づく知性と感性によって、論理的・実証的に思考する能力および状況判断・問題解決の能力を備えている。		
DP4: 態度・志向性	4-1	日常生活の中で大学院での学修の価値を認識し、常に学問的态度を保ち続けている。		<p>特別演習I → 特別演習II</p>
	4-2	広範で体系的な知識、豊かな感性、しっかりとした倫理観に基づき、家庭・事業体・地域社会・国際社会において自らの役割を自覚しながら使命を全うしようとする強い意欲と意思を持っている。		

※複数領域にまたがる科目は破線枠で囲んでいます